

あいめーる

WINTER

愛隣館通信

平成 31 年 2 月 10 日発行 〒861-0551

発行

熊本県山鹿市津留 2022

社会福祉法人 愛隣園

TEL 0968-43-2771

障害者支援施設 愛隣館

FAX 0968-43-2793

発行責任者 三浦貴子

http://aileans.com

編集 広報チーム

E-mail

キャリアビジョン

ailinkan@magma.jp



愛隣館食堂ホールにて：阿蘇山選手と集合写真

九州は元気にするバイ!! 九州プロレス愛隣館訪問

十二月七日(金) 愛隣館食堂ホールに於いて、「九州は元気にするバイ!!」をスローガンとするNPO法人九州プロレス所属(熊本県八代出身)阿蘇山選手が来訪されました。阿蘇山選手は身長・185センチ・体重・120キロの九州プロレス最大の巨漢。

普段しているというトレーニングのひとつスクワットをスタッフが実践。阿蘇山選手は、毎日1000回やっていると言っから驚きです!

プロレス技の紹介では、応援団体のひとつ、サニクリン九州のお若い担当者を相手に水平チョップ対決。『ドスン』と、大きくて鈍い音が響き渡りました。

次は「100kgまではOK!」とたのもしなお言葉があり、十数名の利用者やスタッフを軽々とお姫様だっこ。あまり笑顔を見せない利用者の方も、腕の中でニッコリ。なんとも優しい対応に、館長から介護職へスカウトされる場面ありと、笑いの絶えない交流会でした。

十二月十六日には、山鹿市あんずの丘で開催の試合に利用者・スタッフ六名を招待して下さいました。

観戦に参加した福原さんは「たいぎゃおもしろかった。ばってんXぶらぶらのギャグ、めんたい☆キッドと灯籠キッドの空中殺法が特に笑った。元気になったバイ!!」とボルテージを上げ話してくれました。

有難うございました。





館長 三浦 貴子

本年もどうぞよろしくお願ひします。

お正月一月三日の夕刻、衝撃音と共に地震が来ました。山鹿がこの揺れだと、益城町や西原村は大丈夫だろうか？と、二年前の熊本地震のことがまずよぎりましたが、すぐに益城町から、「和水町お隣ですよね。そちらは大丈夫ですか？」とメールが来ました。

施設の無事を確認後、震度六弱だった和水町から通うスタッフ六人の安否・被害確認を行いました。早々の地震で被災された和水町の皆さまにお見舞い申し上げます。そして、当方関係者ならびに県内身障児者協会員施設には被害が無かったことをご報告申し上げます。

身障協の日野会長をはじめ東京、神奈川、北海道から沖縄まで、ご心配の電話を頂きましたことにもまた、勇気づけられました。全国の皆さんが、私たち熊本を気にして頂き、ケアして下さいることに感謝しています。同郷の仲間達も、あちらこちらから、沢山の連絡を貰って驚いた、嬉しかったと話しています。

このようなか、一月十日に、知人の美術関係者から、青森在住の作家さんが一月三日の熊本地震に衝撃を受け、神の啓示のように一枚の絵をわずか二日

間で描き上げられたこと、できれば熊本で受け取って欲しいとの連絡がありました。

届いた、就労継続支援B型事業所に通う今さんの作品は、「復興と鎮魂の祈り」。卑弥呼と動物達も皆熊本を守っています、応援していますとの思いが込められていることを、佐藤施設長から伺いました。まだ、お会いしていない今さん、遠く青森からも見守って頂くことがありがたく、感動しています。本当にありがとうございます。

● ノーリフトの推進 ●

サービス管理責任者 前田 明

愛隣館では利用者の安全と職員の健康、双方のためにノーリフトをすすめ、スライディングシート、ポジショニンググローブを導入しました。

今までは、ベッド上で身体を動かしたり体位変換したりする際、持ち上げたり引張ったりすることで身体には圧迫力やずれ力といった圧がかかっていました。



スライディングシート、ポジショニンググローブを使用することで、この苦しい圧を取り除くことができ、少しの力で身体の移動時抱えることでの緊張や褥瘡予防の体位変換を行う事ができるようになりました。

導入後は、利用者の皆さんより「身体が『スー』と上がり楽でした」「抱えられるより体が楽」という声が多く聞かれました。また、新しいベッド(3モーター)を前期・後期各五台ずつ購入しました。

今後、より質の高いケアを提供できるよう目指していきます。

● 新人職員紹介 ●

ケア課



千歳 美知子

愛隣館にお世話になり、早五ヶ月たちました。ヘルパー等の仕事はしておりますが、施設内での仕事は、初めてなので、不安でいっぱいでしたがスタッフの皆様、また利用者の方に、毎日、学ばせていただいています。

この出会いを大切に、真心よりの気持ちは伝える事を信じて皆様と仲良く仕事ができることを心より願っています。どうか、今後共、よろしくお願ひ致します。



ケア課

田中 愛由美
あゆみ

皆さんこんにちは、昨年の十一月から愛隣館で働かせていただいております、田中愛由美です。私は中国人で日本に来て七年目で、山鹿に住んでいます。日本語がまだ不十分で介護という仕事も初めてです。まだまだわからないこともたくさんあり、ご迷惑をおかけすることもあると思います。精一杯がんばりたいので、いろいろ教えてください。趣味は刺しゅうなどの手芸です。入居者の皆さんと一緒に何かできればうれしいです。どうぞよろしくお願いいたします。

地域福祉部合同忘年会

十二月七日

(金)愛隣倶楽部に於いて、デイケア、愛隣倶楽部、ぴあぴあの各利用者ご家族、職員が集い地域福祉部合同忘年会がありました。

三浦貴子館長の挨拶に続き、



ぴあぴあご利用の大仁田ゆみこさんの乾杯の音頭で和やかに会食が始まりました。恒例のカラオケ大会では、ハーモニカ演奏やツラヤメイクを施しての参加に会場は笑いに包まれ賑いました。

皆さんが心待ちにされているお楽しみ抽選会では、外部講師賞(中村先生・境先生)の提供もあり、様々な賞品を手に入れています。

最後に、デイケアご利用の下川龍次さんが万歳三唱を行い、愛隣倶楽部・辻サービスマネジメントよりお礼の挨拶で締め括り、盛やかな忘年会となりました。

入居者初詣

ケア課 富田 正美

平成最後の新年を迎え、愛隣館では一日(火)に彦嶽宮(下宮神社)へ初詣に行きました。

寒くはありませんが天気は良く、利用者九名、職員六名で参拝しました。

彦嶽宮は愛隣館から歩いて十五分程の所にあります。利用者、職員共に、頑張って神社へ行き、それぞれ心の中で「家内安全」や「無病息災」などをお願いし



てきました。

神社の方に出していただいた甘酒を飲み、その後おみくじを引いた方、お守りを購入された方もいらっしゃいました。

皆様方にとりまして、今年一年良い年でありませうように。

鶴城中学校交流 体験ボランティア

十一月二十九日(木)山鹿市鶴城中学校の皆さん(三年生十四名、田上明利校長、教職員三名)が、交流体験ボランティア活動の一環として今年も訪問してくれました。

同校は、平成三十一年三月末をもって閉校するため、最後のボランティア活動となりました。

はじめに食堂にて、田中サービスマネジメントより施設の概要説明があり、中学生から「仕事にやりがいを感じますか?」、「入所者の夜間帯(支援)は、どうなっていますか?」と、福祉の仕事に対する興味深い内容の質問が飛び出しました。

オリエンテーションが終了し、各号館や食堂、玄関等の窓ふき清掃のほか、三班に分



かれ、オセロ、ポッチャ、シャフルボードゲームにて入居者と交流。最初は、恥ずかしがっていた中学生も、各ゲームを通して入居者との会話も弾み交流を深めておられました。

最後に校歌合唱の披露があり、母校の校歌を懐かしみ、思わず口ずさむ同校卒業生スタッフもいました。

愛隣館開設当初から、長きに亘り清掃・交流ボランティアに来館下さり、利用者・スタッフ一同感謝致します。ありがとうございました。

法人愛隣園 クリスマス会の集い

相談員 守田 直人

十二月二十四日(月)愛隣館にて法人クリスマス会の集いが開催されました。玄関では大きなツリーが

迎え、館内はクリスマス一色の飾りつけがなされていきました。午後四時からティナールが始まり、各テーブルには、食生活課の手作り料理をはじめご馳走が並び、楽しい歓談と美味しい食事で大くさん



の笑顔がみられました。

午後六時から、愛隣園の子供たちと入居者による賑やかなキャンドルサービスからセレモニーが始まり、皆で賛美歌を歌い三浦一水理事長よりクリスマスのお話がありました。

その後、各グループによる出し物が披露され、今年流行したダンスや、平成最後をテーマにした映像飛び入りの演奏もあり大いに盛り上がりました。

くまもと障がい者芸術展

デイケア 坂本 美由紀

十一月二十日(火)二十五日(日)に熊本県立美術館分館にて、くまもと障がい者芸術展が開催され、愛隣館、デイケア、愛隣倶楽部の皆さんの陶芸や手芸、パステルアート、写真、詩など、全部で五十四作品が展示されました。

今年、「心に残った作品」としてデイケアご利用の小川ハツ子さんの陶芸作品「走れ」が、美術部門工芸の部でたくさんの方の支持を受けられ、ハートウィーク賞を受賞されました。



ハートウィーク賞:作品名「走れ」

小川さんは、「イノシシは見たことがなくて先生に教えてもらい真似して作りました。怖い動物ですが、かわいいイメージで作りました。賞をもらって信じられない気持ちで、思いがけなく嬉しいです」と受賞の喜びを話して下さいました。

個性的でかわいいイノシシがたくさん並び、心がほっこりする作品に、いつも癒されています。

労働安全衛生委員会

一月の委員会のテーマは「転倒予防」でした。理学療法士の有田早耶香講師によると、重心が『支持基底面』よりはみ出る時に転倒しやすい。特に、転倒経験者、おちよこちよいの人、バランスが不安定の人、筋力低下の人等は注意して下さい。予測情報の共有が大切とのことでした。

二月のテーマは「メタボ予防」です。

お知らせ

● バレンタイン家族報告会

二月二十三日(土)愛隣館にて、バレンタイン家族報告会を開催します。

● 愛隣館ホームページリニューアル

愛隣館ホームページがパソコン、スマートフォンで見やすくなり、新たにリニューアル致しました。検索キーワード: 障害者支援施設 愛隣館

<https://www.aizeans.com/>

『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された広報チーム、キャリアビジョンが担っています。